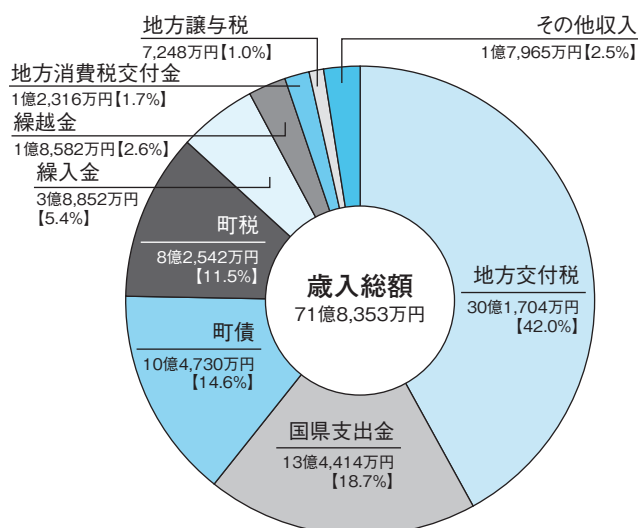


一般会計

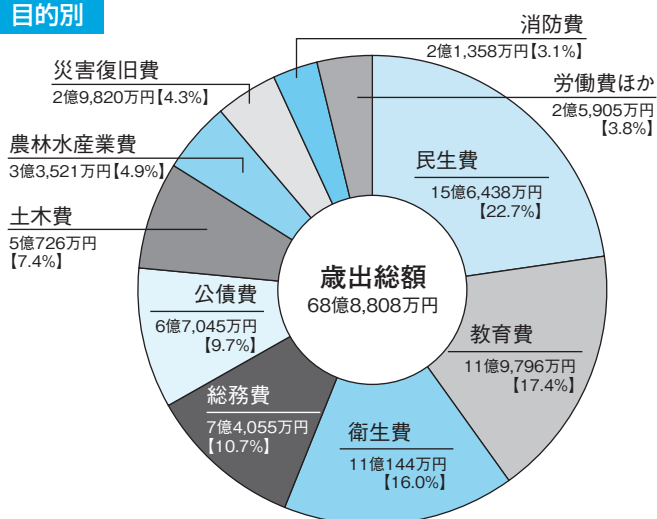
町会計の中心である一般会計は、歳入が71億8,353万円、歳出が68億8,808万円で、差引2億9,545万円の黒字決算となりました。前年度と比較すると、普通建設事業費や災害復旧事業費の減少などにより、歳入は4億3,197万円、歳出は4億1,160万円減少しました。

歳入 71億8,353万円（対前年度比5.7%減）

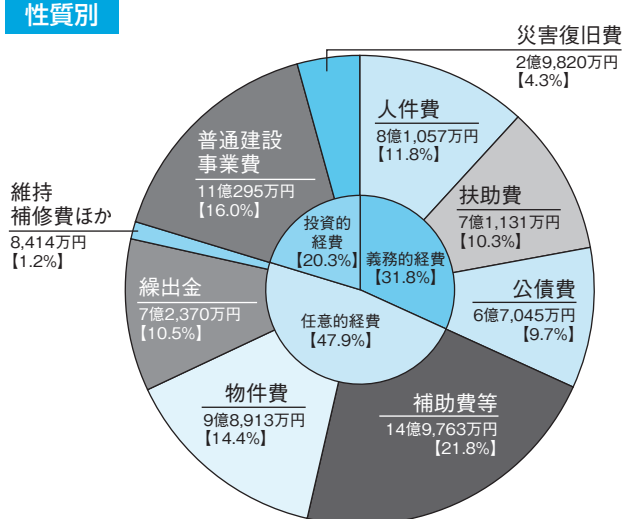


歳出 68億8,808万円（対前年度比5.6%減）

目的別



性質別



決算の概要

平成26年度

平成26年度における三戸町の一般会計と7つの特別会計の決算（平成26年4月1日から平成27年3月31日までの1年間の収入と支出の実績）が、町議会9月定例会において認定されました。

町民の皆さんや事業所などから

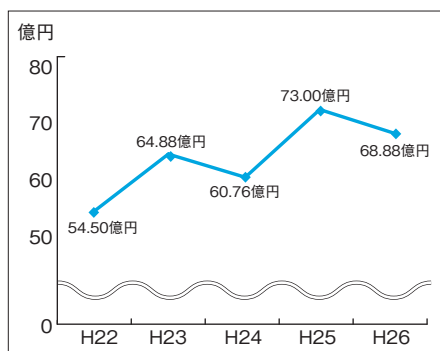
納めていただいた税金や、国、県からの交付金などを元に、昨年度はどのような事業を実施したのか、その概要についてお知らせします。

また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）に基づき算定した、平成26年度決算に基づく健全化判断比率、資金不足比率を公表します。

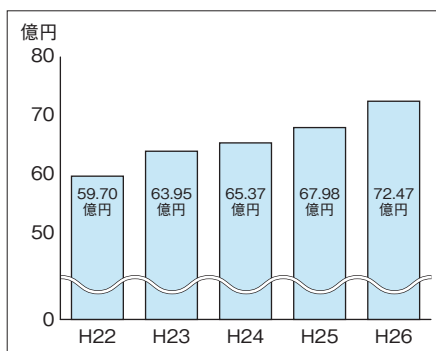
パークゴルフ場及び小中一貫校整備に係る事業費により、平成26年度の一般会計歳出決算額は、直近5年間の中で平成25年度に次ぐ規模となりました。

一般会計町債残高は、小中一貫校の建設が本格的に始まった平成23年度から増加し、平成26年度末残高は72.47億円となりました。

一般会計歳出決算額



一般会計町債残高



○快適で住みよい明るいまちづくり

携帯電話エリア整備事業【総務費】 8,829万円

事故や災害時の連絡体制の強化や情報通信格差の是正のため、大舌地区、横沢地区、荒田地区、清座久保地区に基地局を設置し、携帯電話利用可能エリアを拡大しました。

役場駐車場拡張整備事業【総務費】 6,717万円

県道櫛引上名久井三戸線及び町道下目時1号線の改良工事に伴い、役場駐車場の拡張工事を実施しました。

公共施設改修事業【民生費・教育費】 6,045万円

総合福祉センター（ふくじゅそう）屋上、中央公民館トイレ、町民体育館屋根の改修工事を実施しました。

町道改良舗装事業【土木費】 4,790万円

町道黄金橋公民館線、河川道線、鬘田梅内線の舗装工事（施行延長約940m）を実施しました。

道路ストック総点検事業【土木費】 1,713万円

道路施設の老朽化による被害を防止するため、道路の舗装や標識等の点検を実施しました。

自主防災組織育成強化特別推進事業【消防費】 325万円

防災資機材の整備を図るため、町内自主防災会7団体に対し、補助金を交付しました。

○仕事でにぎわう楽しいまちづくり

緊急雇用創出事業【労働費】 1億516万円

雇用機会の創出を目的とした観光推進体制強化事業、ユーザーサポート人材育成事業を実施しました。

被災農業者向け経営体育成支援事業【農林水産業費】 4,432万円

平成25年度の大雪により被害を受けた農業用ビニールハウスの再建に対し、補助金を交付しました。

プレミアム付き商品券発行事業【商工費】 334万円

消費者の購買意欲喚起と町の経済活動の活性化を目的としたプレミアム付き商品券発行事業に対し、補助金を交付しました。

○笑顔で、健康で元気に暮らせるまちづくり

パークゴルフ場整備事業【土木費】 2億1,205万円

道の駅近接地にパークゴルフ場用地を取得し、造成工事に着手しました。

臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金事業【民生費】 5,532万円

平成26年4月の消費税率の引き上げによる影響を緩和するため、低所得者及び子育て世帯へ給付金を支給しました。

○生きる力にあふれた学びのまちづくり

小中一貫校建設事業【教育費】 7億297万円

多目的グラウンド（陸上、サッカー）、野球場、テニスコート、相撲場を有する屋外運動施設と校舎周辺の外構整備を実施しました。

小中一貫教育推進事業【教育費】 1,339万円

効果的な学習指導を行うための授業交流発表会、中1ギャップ解消のための進級前ガイダンスや学習習慣を形成するための学習コーチ事業等を実施しました。

おもな取り組み



拡張工事を行い、広くなった役場駐車場



多くの人が買い求めたプレミアム付き商品券



造成が進むパークゴルフ場



整備されたグラウンドで元気に運動する子どもたち

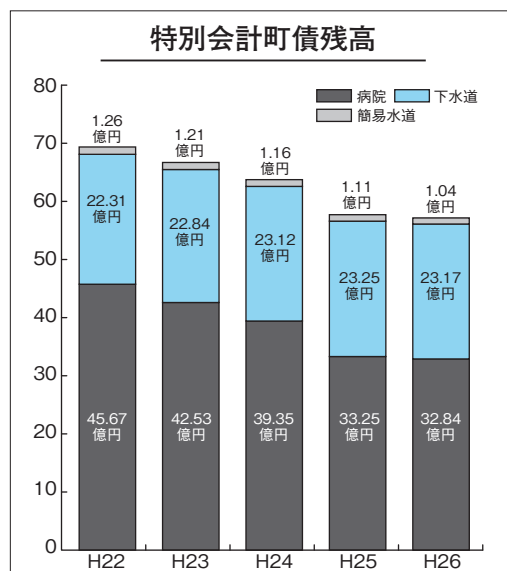
特 別 会 計

三戸中央病院の収益的収支は、一般会計からの繰入金の増額などにより、収入が22億1,104万円、支出が21億652万円で、差引1億452万円の当期純利益となりました。

介護保険特別会計は、介護保険サービスの利用が増加したため、前年度より歳出は9,000万円増加し、歳入が19億2,046万円、歳出が19億77万円となりました。

特別会計の町債は、病院会計と簡易水道会計において新規発行町債がなく、全ての特別会計において残高は減少しています。

会計名		収入額	支出額	差引
病 院	収益	22億1,104万円	21億652万円	1億452万円
	資本	2億1,892万円	4億156万円	△1億8,264万円
介 護 保 険		19億2,046万円	19億77万円	1,969万円
国 民 健 康 保 険		16億8,264万円	16億1,848万円	6,416万円
下 水 道		2億4,295万円	2億2,989万円	1,306万円
後期高齢者医療		1億1,516万円	1億1,343万円	173万円
学 校 給 食		4,263万円	4,234万円	29万円
簡 易 水 道		4,840万円	4,253万円	587万円



財政健全化比率

財政健全化法は、「早期健全化基準」と「財政再生基準」という2段階の判断基準を定めるとともに、公営企業については「経営健全化基準」を設け、財政状況をチェックして地方公共団体の財政破綻を未然に防ごうとするものです。

平成26年度決算に基づき健全化判断比率を算定したところ、いずれの比率についても基準を下回る結果となりました。また公営企業会計における資金不足比率についても、全会計において資金不足額はありませんでした。

健全化判断比率

	平成26年度 決 算	平成25年度 決 算	平成24年度 決 算	早期健全化基準 財政再生基準
実 質 赤 字 比 率	-	-	-	15.00% 20.00%
連 結 実 質 赤 字 比 率	-	-	-	20.00% 30.00%
実 質 公 債 費 比 率	14.3 %	15.3 %	16.8 %	25.0 % 35.0 %
将 来 負 担 比 率	116.5 %	116.6 %	123.2 %	350.0 %

資金不足比率

	平成26年度 決 算	平成25年度 決 算	平成24年度 決 算	経営健全化 基 準
病 院 会 計	-	-	-	20.0 %
簡 易 水 道 会 計	-	-	-	
下水道会計	-	-	-	

*「-」は、実質赤字額・資金不足額がないことを表しています。

財政健全化比率について

実質赤字比率

福祉、教育、町づくりなど、どの団体でも普遍的に行う事業をまとめた「一般会計」の赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示すものです。

連結実質赤字比率

全ての会計の赤字や黒字を合算(連結)し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化して、地方公共団体全体の財政運営の深刻度を示すものです。

実質公債費比率

借入金の返済額及びこれに準ずる額の大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示すものです。

将来負担比率

一般会計の借入金や将来支払う可能性のある負担などの程度を指標化して、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

資金不足比率

公営企業の資金不足を、事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すものです。